

パブリックコメントに対する意見と町の考え方

1. 第5次二宮町総合計画中期基本計画（素案）に対する意見

	意見(要約)	町の考え方
分野別方針	2-1 子育て・子育て (30～31 ページ) 「放課後子ども教室」は、目的が不明確、実施回数及び参加人数が少な過ぎるなどの課題を感じている。第5次二宮町総合計画中期基本計画において重要な事業と位置づけ、文科省のプランに則った取り組みを推進するべきではないか。	意見の主旨は素案に取り入れていません。 子育て支援は、町において重要な施策として、中期基本計画において重点的方針に位置付けております。（重点的方針2） 個別の事業については、より充実した事業となるよう改善を図ってまいります。

2. 二宮町総合戦略（素案）に対する意見

	意見(要約)	町の考え方
全体	他自治体が進めている戦略と大きく変わらないという心配をしている。4つの基本目標の順位をはっきりつけることで、他にもわかりやすくなる。総花的なものでは力にならない。 総合戦略というからには、計画だけではなく、運用まで踏み込む必要があると思う。5年間に何を重点にし、特化して行っていくのか明らかにする必要がある。	意見の主旨は素案に取り入れていません。 二宮町総合戦略では、町の特性を反映して、地域づくりの項目を基本目標の一番に掲げた点が大きな特徴です。（国・県や多くの自治体では地域づくりは最後の項目に位置づけられています。） 具体的な施策やプロジェクトに関しては、二宮町の現状や特性等を踏まえた内容となっており、今後具体的な取り組みを進める中でより町の独自性が出てくるものと考えています。 また、二宮町総合戦略の施策・プロジェクトは、重点的に取り組む事業として第5次二宮町総合計画でも「重点的方針」に位置づけ、整合を図っています。 個々のプロジェクトについては、計画策定後に具体的な内容について検討を進めていきます。

	意見(要約)	町の考え方
全体	人口減少は二宮町だけで何とかなるというものではない。日本全体で人口が増え、くらしが良くなる限り、自治体間で勝ち組・負け組をつくることになる。町としても県・国に対して十分要望をすることが必要だ。	意見の主旨は素案に取り入れていません。 ご指摘の通り、人口減少は全国的な問題で、二宮町だけで人口を回復することは難しい状況です。しかし、今回の地方創生では、今後の人口減少に少しでも歯止めをかけるため、各自治体でできることを考え、実践していくことが求められています。この計画を機に、二宮町でも人口減少に歯止めをかけるための取り組みの第一歩を踏み出したいと考えています。
	町の財産が「人」であり「人と人の繋がり」であることを町民が共通認識させる具体的な手法が記載されていない。「まちづくりの力」になる個の重要性を認識し、まちの課題解決に向けて調整ができる人（コーディネーター）が動きやすい環境をつくることが重要だ。	意見の主旨は素案に取り入れていません。 「町の財産が「人」であり「人と人の繋がり」である」ことに対応する内容としては、基本目標1を中心に方向性を示しています。また、基本目標2～4においても、「人」や「人の繋がり」を意識した施策・プロジェクトを示し、基本目標1の取り組みとあわせてご指摘の課題解決に向けた取り組みを進めていきます。
	重要業績評価目標値は「上昇」というような言葉ではなく、数値を記載してほしい。	修正しました。 重要業績評価指標の目標については、何%あがったからよいくとするか数量的な判断が難しい指標が多くあります。そのため、本計画では上限を決めず現状より良くするという意味で「上昇」という目標値を設定しました。
	全体に専門用語が多く、わかりにくいです。解説を入れてほしい。	修正しました。 ご指摘を踏まえ、難しい用語には解説を追加します。
基本目標1	<p>(1) 公共施設の総合的なマネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり (9ページ)</p> <p>公共施設の総延床面積は公共施設の再配置調査で1/4しか保持できないとあるので、行政判断として目標値を明確化してほしい。</p>	計画内容に変更はありません。 公共施設の再配置については、今後、二宮町総合戦略に基づいて、専門的に調査を行い、具体的な検討を進めていきます。

	意見(要約)	町の考え方
基本 目標 2	数値目標 (15 ページ) 二宮町の社会移動数の目標値は-58人以上ではなく以下の間違いではないか。	修正しました。 社会移動数のマイナスは転出超過を示しています。従って目標値-58人は58人の転出超過という意味になり、この数字よりも社会移動数を増やしたいという意味から「以上」としていましたが、「転出超過 58 人以下」という表現に修正します。
	(1) 「にのみやLife」の提案と発信 (16 ページ) にのみやLifeの具体的なイメージが分からない。戦略では、根底となる方針、目標を明らかにした上で、プロジェクトを特化し、具体性のある事業を盛り込む必要があると思う。	修正しました。 「にのみやLife」の内容については、総合戦略では考え方の大枠を示しています。次年度以降は全国への情報発信、移住希望者に向けた移住経験者や町民有志の生の声の発信など、戦略的なソーシャル活動の取り組みを進めていく予定です。
	(1) 「にのみやLife」の提案と発信 ▼空き家を活用した定住希望実現プロジェクト (17 ページ) プロジェクト、二宮の良さとして町内にある昭和の建物や路地を活用し、若い人の起業支援をする方法、定住促進をする内容を盛り込んでほしい。	計画内容に変更はありません。 同プロジェクトではご指摘の魅力的な空き家の活用や起業支援、定住促進なども想定した方向性を示しています。これらの具体的な方法につきましては、今後検討していきたいと考えます。
基本 目標 4	(3) 身近な地域で働く希望を叶えるための雇用創出 ▼就農・地産地消応援プロジェクト (27 ページ) 二宮町の今の現状では、6次産業化ではなく、1次産業に携わる人たちを他の分野に結びつけていく販路の支援や人的支援をする方が適切だと思う。	意見の主旨は素案に取り入れています。 6次産業化以外に対しても就農者に対する総合的な支援を位置づけ、第1次産業の振興を進めていきます。